

学校教育目標

志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子



もせうし小だより



妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和7年11月28日発行 No.9
発行：戸澤 法史 文責：穂山 拓希

人を大切にする勇気をもって 校長 戸澤法史

先月の学校だより No.8 で本校の「いやなことアンケート」の結果についてお知らせいたしました。今回は、「いじめ」はどの子どもにも、どの学校においても起こり得るものであることを踏まえて、いじめについて考えてみたいと思います。

まず、「いじめ」の定義について確認します。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法より）

つまり、友だちなどから心や体を傷つけられてつらい思いをすることが「いじめ」です。では、次の事例はどうでしょうか。お子さんと一緒に考えてみてください。（特に③の事例）

①ある子が発表のときに間違えると、クラスの何人かが「また間違えた！」と笑いました。その子は笑ってごまかしたけれど、心の中ではとても恥ずかしくて、次から手を挙げられなくなりました。

②ある子が新しい筆箱を持ってきたとき、「なんかダサい」「それ安そう」と笑う子がいました。言った方は冗談のつもりでも、その子は家に帰ってから悲しくなりました。

③Aさんが、ある友だちの悪口を言い始めました。そして、まわりも一緒に言いました。Bさんは「やめようよ」と思ったけれど、「空気が悪くなる」と思って笑いながらみんなに合わせてしましました。

①②の事例は、定義からすると、精神的苦痛を感じているので「いじめ」に当たります。

③の事例では、悪口を言った人はもちろん「いじめ」をしたことになりますが、笑いながら周りに合わせた人はどうでしょうか。

「みんながやっていることは、本当に正しい？」

悪口を言われた人は、きっとつらい思いをしたはずです。そう考えると、一緒に笑った人も「いじめ」に加わってしまったことになるのだと思います。私たちは「周りに合わせなければならない」と感じて、嫌なことを見て見ぬふりをしてしまうことがあります。しかし、みんながやっていることがいつも正しいとは限りません。



自分の心の声を大切に

自分の心が「おかしいな」「いやだな」と感じたら、その気持ちを大切にして、勇気を出して「やめよう！」と言える人になってほしいと思います。もし、言えなかったとしても、先生やお家の人に話したり、その場から静かに離れたりして、一緒に笑う人にならないでほしいと思います。

人を大切にする勇気を

「人を大切にする勇気」をもってほしいです。周りと違うことを言ってもいい、誰かを守る言葉を言えることが何よりも大切だと思います。

これからも子どもたちが、お互いを思いやり、安心して過ごせる学校をみんなでつくっていきたいと思います。

管内の児童会・生徒会がオンラインで集い合同会議をしました

11月7日（金）と12日（水）の2日間、空知管内の小・中・高校の児童会・生徒会役員がオンラインで集まる「どさんこ子ども会議」が開催されました。本校からは、5年生の児童会役員2名が参加しました。はじめは、年代の異なる参加者との交流や慣れないタブレット操作に、不安や緊張があったようですが、次第に操作に慣れ、SNSトラブルを防ぐための具体的な提案をグループの仲間に堂々と発表することができました。



今回の会議テーマである「SNSトラブル」は、今後子どもたちの生活の中でも起こり得る大切な課題です。時代に即したテーマであったことから、後日、妹背牛中学校と合同で行った「小中いじめ撲滅集会」でも取り上げていただきました。（下記事参照）

中学生と一緒に仲間づくりの大切さについて考えました



11月21日（金）、中学校で「小中交流いじめ撲滅集会」を行いました。昨年と同様に、小学校5・6年生が中学校に出向き、グループごとの話し合い活動を行う形式で進めました。

集会の前半では、中学校生徒会執行部の企画・運営によるレクリエーション「共通項を見つけよう」「言葉探し」を行いました。普段、中学生と関わる機会が少ないため緊張していた子もいましたが、生徒会の皆さんのが見事な進行のおかげで、落ち着いた雰囲気の中で話したり協力したりすることができ、互いに打ち解け合うことができました。

後半は、教育委員会の進行のもと「グループでの話し合い」を行いました。テーマは「SNSトラブル」です。便利な点や困った点をイメージしながら、SNS利用に伴うトラブル、その解決策や回避方法について話し合いました。中学生のリードがとても上手だったため、小学生も自分の考えをしっかり述べることができ、たくさんの意見が出る活発な話し合いとなりました。

中学生と一緒に活動したことや、授業では深く考える機会が少ない「SNSトラブル」について理解を深めたことなど、有意義な時間となったようです。5・6年生には、今後中学校に進学した際、この経験を生かして小学生を上手にリードできる存在になってくれることを期待しています。

今回の集会の実施にあたり、中学校生徒会執行部の皆さん、各グループのリーダーの皆さん、そして全体進行を務めてくださった教育委員会の皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

妹背牛町交通安全ポスターコンクール表彰

5・6年生が取り組み、作品を出品しました。先日、町より受賞者が決定したとの報告がありましたので、ご紹介いたします。なお、12月3日には小学校で表彰を行う予定です。

《受賞者紹介》

○妹背牛町長賞	5年	6年
○妹背牛町交通安全協会長賞	5年	6年
○妹背牛町教育長賞	5年	6年
○深川警察署妹背牛駐在所長賞	5年	6年

自分の目標どおりに実行できたかな？～家庭学習強調週間

11月7日（金）から13日（木）、今年度2回目となる「家庭学習強調週間」を実施しました。実施にあたり、保護者の皆様にはお子さんへの励ましや声かけ、助言などでお力添えをいただきました。誠にありがとうございます。期間終了後、子どもたちが記録した振り返りを簡単に紹介します。

1. 期間中にがんばること

子どもたち一人ひとりに、期間中に頑張りたいことを目標として書いてもらいました。最も多かったのは国語（特に「漢字」）で、次いで算数（九九など）が多く挙げられました。学習の方法は「ノート」「ドリル」「塾のワーク」など、さまざまな形で取り組んでいました。

2. 家庭学習時間

事前に立てた「家庭学習実施時間」の目標を達成できたかどうかを尋ねました。「できた」と答えた子は、**全校で81.2%（6月は78.3%）**でした。振り返りを見ると、「土日はできなかつた」「できない日もあった」など、自分の取り組みを具体的に振り返る姿が見られ、大変立派でした。達成できなかつた点については、今後意識して取り組んでほしいと思います。

3. メディアコントロール

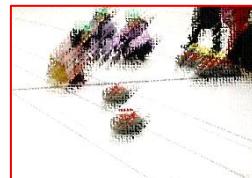
テレビや動画視聴、ゲームなどについて、1日の利用時間の目標を定め、時間を抑えられたかどうかを尋ねました。「できた」と答えた子は、**全校で73.9%（6月は65.2%）**でした。6月の実施時よりも着実に成長している様子がうかがえます。なお、全校児童の視聴目標時間の平均は、88.6分でした。ご家庭でのメディアコントロールの参考にしていただければと思います。

カーリングに挑戦しました（3～6年生）

11月4日から13日の期間、3年生以上を対象にカーリング体験を行いました。会場はカーリングホールです。

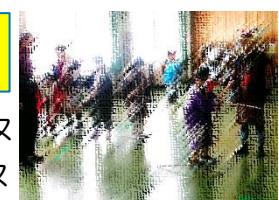
今年度から初めて体験に参加した3年生も、これまでの経験を積み重ねて技術が確実に上達してきた6年生も、それぞれの学年の状況に応じ楽しく参加できました。中学校でも体育の授業でカーリングを実施するため、進学後も安心して取り組めそうです。

体験学習にあたっては、町のカーリング協会の皆様に丁寧なご指導をいただきました。お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございます。



アイヌ文化体験活動に参加しました（2年生）

11月18日（火）、2年生を対象にアイヌ文化体験を行いました。当日は、アイヌ文化アドバイザーの門別様、アイヌ民族文化伝承者の吉村様にご来校いただき、アイヌ文化に関する講話や伝統的な遊びの体験、民具の鑑賞などに取り組みました。子どもたちは伝統的なアイヌの衣装に身を包み、講師のお話を真剣に聞くことができました。特に弓引き体験では、回を重ねるごとに上達し、最終的には離れた的に命中させる子もいたほどです。今年度は、2年生・4年生（10月実施）・6年生（12月実施）の3学年が、それぞれ異なる内容で体験活動を行います。今回の体験をきっかけに、子どもたちがアイヌ文化についてより深く知り、関心を持ってくれることを願っています。



12月4日（木）は参観・懇談日です

冬休み前の参観日を12月4日（木）に行います。子どもたちが学習やさまざまな活動に一生懸命取り組んでいる姿を、保護者の皆様にご覧いただきたいと考えています。授業後には、各学級の担任から、学習に集中する子どもたちの様子や冬休みに向けてのお話をさせていただきます。

当日は、多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております。

児童アンケート・保護者アンケートの結果について

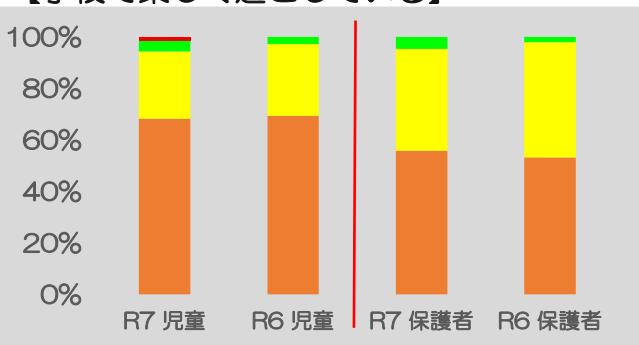
10月末から11月初めにかけて実施した保護者アンケート・児童アンケートにつきましては、多くのご協力をいただき、誠にありがとうございました。いただいた回答を受け、特に特徴のあるものを中心に、集計・分析結果をお知らせします。今年度は、児童の肯定的回答にとりわけ大きな変動は見られない一方で、保護者の肯定的回答に項目ごとの増減が見られ、学校の取組が適切に伝わっている部分と、引き続き丁寧な発信が必要な部分の双方が確認されました。今後も、学校だより・学級通信・ホームページ等を通し、学校の教育活動の実際を分かりやすくお伝えし、理解と協力の輪を一層広げてまいります。

令和7年度 アンケートの回収率 児童100%（昨年度100%） 保護者80.0%（昨年度83.9%）

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない

肯定的回収率 1・2の回答の合計 「1=そうおもう」「2=ほぼそう思う」

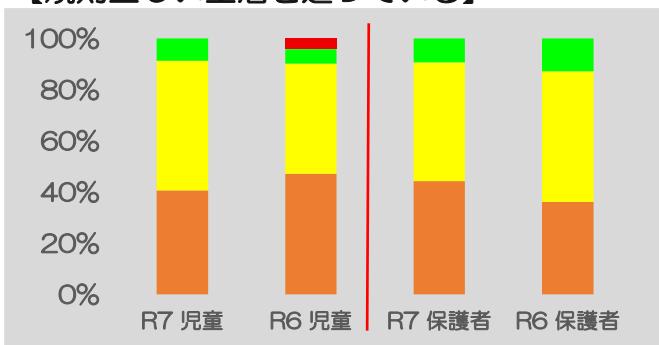
【学校で楽しく過ごしている】



児童
R7 94.2% ↓
R6 97.2%

保護者
R7 95.3% ↓
R6 97.9%

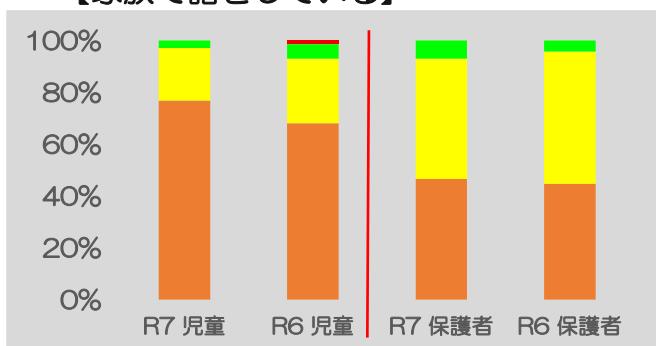
【規則正しい生活を送っている】



児童
R7 91.3% ↑
R6 90.3%

保護者
R7 90.7% ↑
R6 87.3%

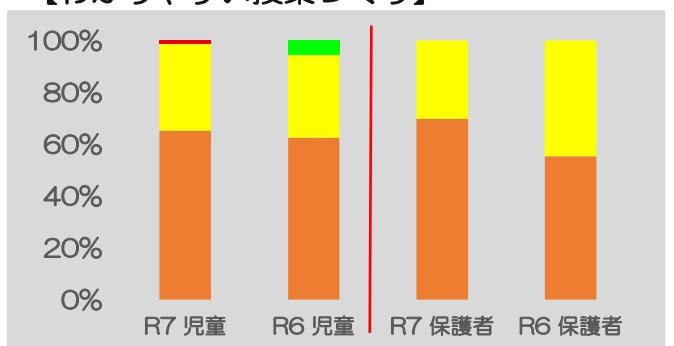
【家族で話をしている】



児童
R7 97.1% ↑
R6 93.1%

保護者
R7 93.0% ↓
R6 95.8%

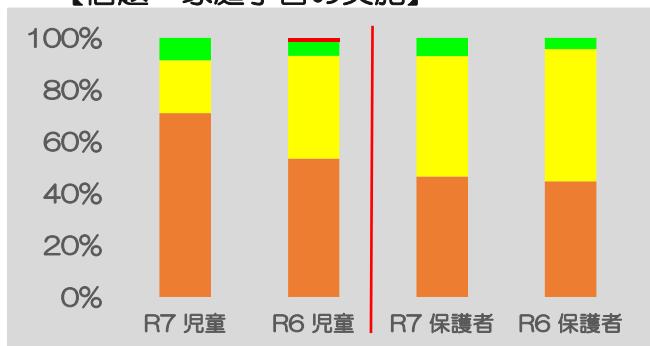
【わかりやすい授業づくり】



児童
R7 98.6% ↑
R6 94.4%

保護者
R7 100% →
R6 100%

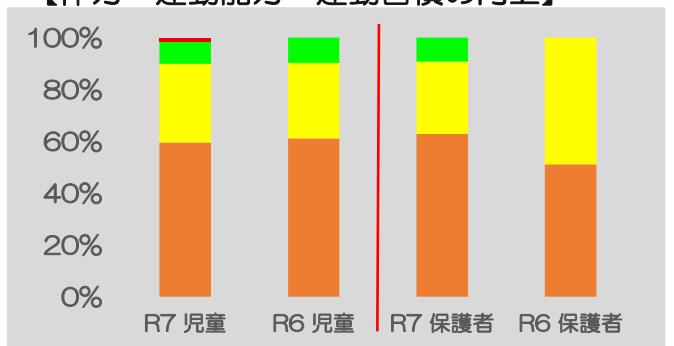
【宿題・家庭学習の実施】



児童
R7 91.3% ↓
R6 94.5%

保護者
R7 88.4% ↑
R6 87.7%

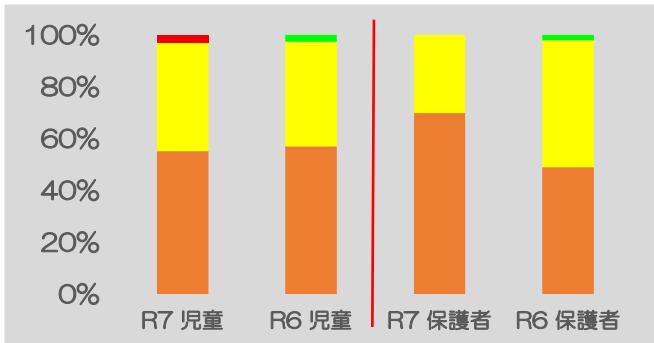
【体力・運動能力・運動習慣の向上】



児童
R7 89.9% ↓
R6 90.3%

保護者
R7 90.7% ↓
R6 100%

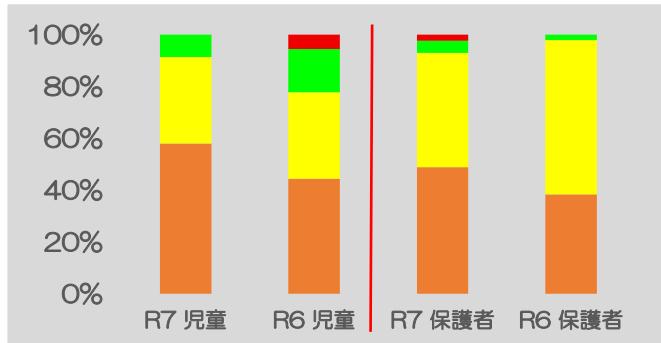
【集団生活のきまり】



児童
R7 97.1% ↓
R6 97.2%

保護者
R7 100% ↑
R6 97.8%

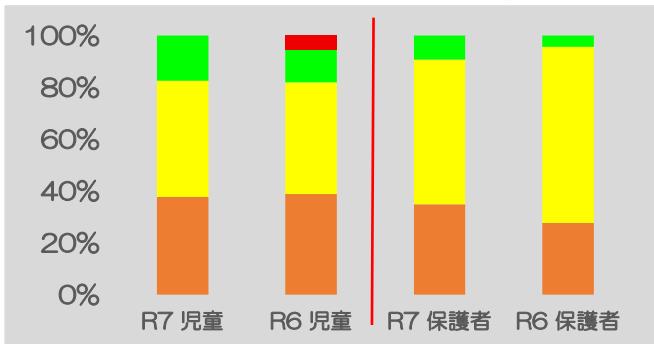
【悩みや問題解決に向けての対応】



児童
R7 91.3% ↑
R6 77.7%

保護者
R7 93.0% ↓
R6 97.9%

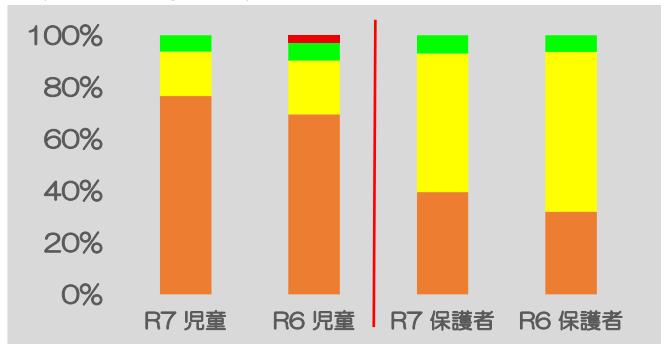
【自分には良いところがある(自己有用感)】



児童
R7 82.6% ↑
R6 82.0%

保護者
R7 90.7% ↓
R6 95.8%

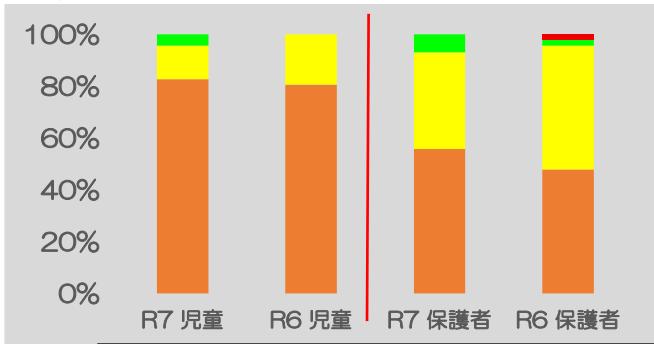
【将来への夢や希望を持っている】



児童
R7 90.9% ↑
R6 90.2%

保護者
R7 93.0% ↓
R6 93.6%

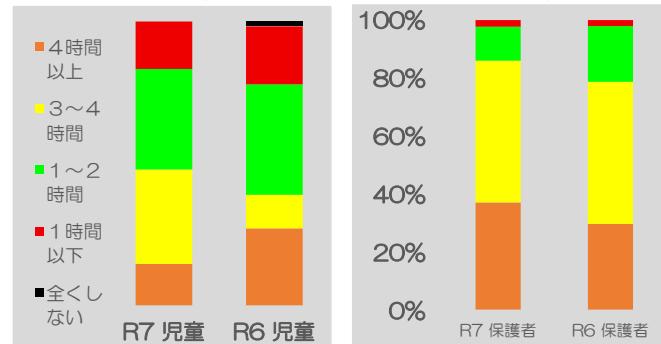
【妹背牛町を誇りに思っている】



児童
R7 95.7% ↓
R6 100%

保護者
R7 93.0% ↓
R6 93.6%

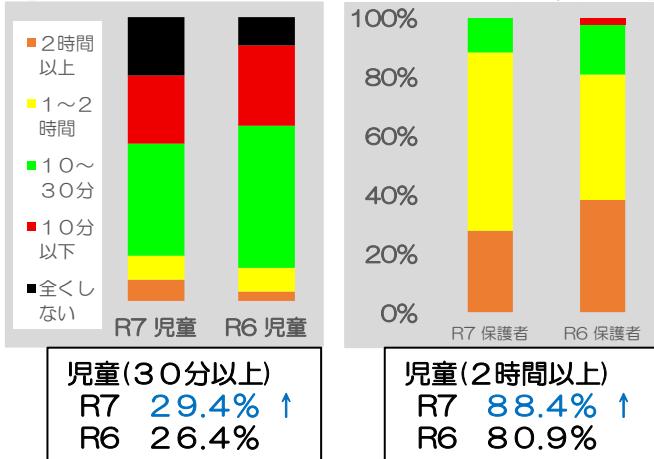
【ゲームやデジタル機器の使用時間(児童)・きまり(保護者)】



児童(2時間以上)
R7 63.7% ↓
R6 50.0%

児童(30分以上)
R7 86.0% ↑
R6 78.7%

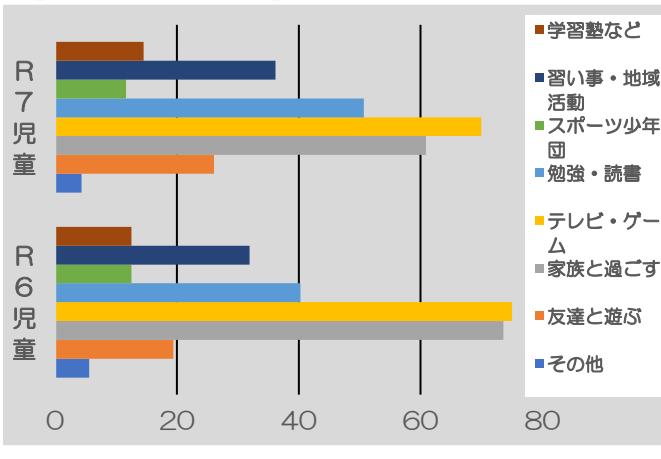
【読書時間 (児童)・学校の読書指導(保護者)】



児童(30分以上)
R7 29.4% ↑
R6 26.4%

児童(2時間以上)
R7 88.4% ↑
R6 80.9%

【休日の過ごし方】



いただいた回答をもとに、成果・課題を洗い出すとともに、各項目における課題解決に向けた分析と改善の方策について検討いたしました。今年度後期にも取組を続けながら、令和8年度の学校の教育活動がより充実したものとなるよう、職員一同努めてまいります。今後とも、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願ひいたします。

【今年度の経営の重点に関わって】

1. 確かな学力の育成

● 学校で楽しく過ごしている

児童:97.2% → 94.2%(3.0pt 低下) 保護者:97.9% → 95.3%(2.6pt 低下)

児童・保護者ともにわずかに低下しています。引き続き、教室環境づくり、学級経営、生徒指導の一体的な取組により、学校で安心して過ごせる雰囲気づくりに努めるとともに、「楽しく通えていない」と回答している児童には、担任や関係する職員による組織的な情報共有と支援を続けます。

● わかりやすい授業づくり

児童:94.4% → 98.6%(4.2pt 向上) 保護者:100% → 100%(±0)

児童の肯定的回答回答率が向上しました。全職員の授業改善、授業におけるタブレットの活用、児童同士の対話を重視した協働的な学び、児童が主体となった学びの展開など、授業改善の成果が児童に実感されていると考えられます。保護者からの評価は昨年度に続き高い水準を維持しています。

● 宿題や家庭学習の実施

児童:94.5% → 91.3%(3.2pt 低下) 保護者:87.7% → 88.4%(0.7pt 向上)

児童の肯定回答回答率は低下、保護者の回答率は微増となりました。6月、11月にはPTAにも呼びかけにご協力をいただきながら家庭学習強調週間を実施し、実施時間・実施率は確実に向上しています。強化週間の取組を日常の習慣化につなげ定着することができるよう、今後とも、ご家庭との連携を深めてまいります。

2. 豊かな心の育成

● 悩みや問題解決に向けての対応

児童:77.7% → 91.3%(13.6pt 向上) 保護者:97.9% → 93.0%(4.9pt 低下)

児童の肯定回答回答率が大きく向上している一方で、保護者の回答が低下しており、差が見られます。引き続き、担任をはじめ全教職員による見守り体制をとりながら信頼関係を築くとともに、必要に応じてご家庭や関係機関と連携しスクールカウンセラーによるカウンセリング等の対応を充実させていきたいと考えています。今後も全教職員で全校児童を見守り、一人ひとりの成長を支えてまいります。

● 集団生活のきまり

児童:97.2% → 97.1%(0.1pt 低下) 保護者:97.8% → 100%(2.2pt 向上)

児童の肯定回答回答率はわずかに低下しているものの、児童・保護者ともに9割5分を超える高い得点率となっています。校内外の決まりについて学級担任より粘り強く指導を続けた成果であると考えられます。改めて学校生活の決まりを全校で共有し、あいさつ活動や廊下の歩行などをはじめ、児童一人ひとりが集団生活を送るまでのきまりを守りつつ、それを自律的に行動に移すための働きかけを更に充実させてまいります。

3. 健やかな体の育成

● 規則正しい生活を送っている

児童:90.3% → 91.3%(1.0pt 向上) 保護者:87.3% → 90.7%(3.4pt 向上)

双方でわずかに向上しましたが、夏休み明けの「生活リズム調査」では、就寝時刻の遅れや朝食の欠食などのケースが見られました。また、ゲーム・デジタル機器の使用ルールが設定されている家庭が増加しているものの2時間以上の機器利用の割合が増加しており、ルールをもとに自身の家庭生活を見直し実行に移すことによる課題が見られます。引き続き、ご家庭と連携しながら基本的生活習慣の定着を促します。

● 体力・運動能力・運動習慣の向上

児童:90.3% → 89.9%(0.4pt 低下) 保護者:100% → 90.7%(9.3pt 低下)

児童はほぼ横ばいですが、保護者回答は低下しました。6月に実施した体力テストの結果においても、走力・持久力等に課題が見られています。一方、体育の時間における3分間走や、地域での朝ラン会などにより運動への意欲向上が見られるため、引き続き、運動習慣をつくる取組を学校・家庭・地域で協働して進めます。

● TV・ゲーム時間(児童)

(2時間以上の児童割合) R6:50.0% → R7:63.7%(13.7pt 向上)

長時間利用の割合が増加しています。全国でも低年齢層のデジタル依存が問題視されており、ご家庭と連携しつつ、メディアとの適切な関わり方を指導していきます。

4. 信頼される学校づくり

● 保護者や地域への発信

保護者:93.6% → 97.7%(4.1pt 向上)

昨年度評価より、やや向上しました。学級担任による学級通信、学校だよりホームページ更新などによる定期的な学校の教育活動の様子をお伝えしたこと、緊急のお知らせはメール配信を活用したことなどの頻度・内容の充実に心がけたことが要因であると考えています。今後とも、より分かりやすい学校の教育活動の情報発信に努めてまいります。

● 保護者や地域との連携

保護者:93.6% → 93.0%(0.6pt 低下)

昨年度評価より、やや低下しましたが、PTA活動、地域行事、関係機関との連携が着実に進んでいると考えられます。PTAは次年度より小中合同の組織へと生まれ変わります。新組織への転換の際に保護者の皆様が不明点を感じることのないよう、事前の情報提供に努め、今後も協働の輪を広げていきます。

【その他、特徴的な項目】

● 家族で話している

児童:93.1% → 97.1%(4.0pt 向上) 保護者:95.8% → 93.0%(2.8pt 低下)

児童の肯定回答率は向上していますが、保護者回答はわずかに低下しました。いやなことアンケートの結果より、悩みを家族に相談する割合が高く児童の家庭での安心感がうかがえます。家庭での会話の機会が子どもの安心感・自己肯定感につながるため、家庭学習や生活習慣の取組と合わせ学校からも働きかけを続けます。

● 自分には良いところがある(自己有用感)

児童:82.0% → 82.6%(0.6pt 向上) 保護者:95.8% → 90.7%(5.1pt 低下)

昨年度と比較し児童の肯定回答率は微増となりました。教室内では授業中の交流活動、係活動や当番などの役割、全校では縦割り班や児童会活動等の異学年交流を通じて、児童個々の活躍を認めるとともに、挨拶から始まる円滑なコミュニケーションや思いやりの心の育成、他者と関わり支え合う場面を設けることで、一人ひとりが具体的な成長や成功体験を実感できる取組を続けてまいります。

● 将来への夢や希望をもっている

児童:90.2% → 90.9%(0.7pt 向上) 保護者:93.6% → 93.0%(0.6pt 低下)

児童の肯定回答率は向上、保護者回答は低下しました。昨年度に引き続き、高学年の肯定回答率も高い得点率を保持しており、中学校への進学に向けて、前向きな意識を持っていることが傾向としてうかがえます。今後も自身の取組を振り返り、次につなげる学習活動を充実させ、地域人材との交流を積極的に取り入れることで、自分の将来を考える学習をさらに充実させていきます。

● 妹背牛町を誇りに思っている

児童:100% → 95.7%(4.3pt 低下) 保護者:93.6% → 93.0%(0.6pt 低下)

児童・保護者ともに肯定回答率が低下している一方で、9割を超える高い回答率となりました。総合的な学習の時間において、各学年の発達段階に応じた地域学習を取り入れたことが要因であると考えています。また、地域参観日や学習発表会、学級通信などを通じて、学習状況やその成果をご家庭や地域に発信し共有することができました。学習を通して育まれた地域への愛着は依然として高い水準です。今後もより深い地域理解につながる活動を行ってまいります。

【アンケートの目的と今後の改善に向けて】

本アンケートは、児童・保護者の皆様の声に耳を傾け、学校の教育活動の成果と課題を把握して改善していくことを目的としています。いただいたご意見は全職員で共有し、今後の学校運営に生かしてまいります。子どもたちが「安心して学べる学校」「楽しく通える学校」であるために、今後ともご家庭・地域と連携しながら、教育活動の充実を図ってまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【保護者アンケートの自由記述に対し、学校として回答をいたします】

○の部分はいただいたご意見、⇒の部分が学校としての回答となります。

○これはほんの例えですがファッショや髪型など、集団行動だからとしばりすぎたりせずに、もっと多様性や個性を尊重していける環境になると、もっと子どもの将来のイメージは広がると想います。一概には言えないこともあるのはわかるけれど、田舎で狭い世界観の中で過ごしているからこそ、ネガティブなモノになりがちな見た目の個性なども、もっとそれぞれを尊重して生きていけるような育て方をできたらもっと良いのではないかと思うことがあります。

⇒この度は、本校の子どもたちの「見た目の多様性」や「個性の尊重」に関して、あたたかいご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。お子さんが、これから幅広い価値観の中でのびのびと自分らしさを表現しながら成長してほしいというお気持ちを受け止めながら拝読いたしました。

本校では、日頃の服装や髪型につきまして、特別に禁止する校則などは設けておらず、基本的にはご家庭の考え方を大切にしていただくものと考えております。学校として良し悪しを判断したり、個性の表現に制限を加えたりすることを目的としていません。一方で、学校では毎日の活動の中に、外遊びや図工などの「汚れやすい場面」、体育などの「動きやすさが求められる場面」があります。そうした活動が安全に、そして十分に行えるよう、汚れの目立たない服装や動きやすい服装を“推奨”という形でお伝えすることができます。また、保健指導として、前髪が視野をさえぎることによる視力への影響や、運動時に爪が割れるなどの危険が想定される場合には、健康・安全面からの助言を行うこともあります。見た目の個性や価値観については本当に幅が広く、時には子ども同士で捉え方が異なり、思いがすれ違ってしまうこともあります。そのような場面では、学校として「相手が嫌な思いをしない行動を大切にする」という視点で指導と支援を行っておりますが、価値観そのものをそろえることは難しく、全てを調整しきれない場合があることもご理解いただければ幸いです。

本校としては、子どもたちが互いの違いを認め合い、友達と力を合わせながら未来を切り開く力を身に付けられるよう、これからも教育活動に努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

○冬のスキー授業について

子供にスキー授業で嫌な思いをさせたくないで、主に冬休み中に近郊のスキー場に上達を目標に連れて行っていましたが、昨年のスキー授業はたったの2回でガッカリしました。やるならもう少し回数増やせないでしょうか？できないなら、中学校のように完全に体育の授業をカーリングに移行できないでしょうか？カーリングはスキーのように用具代をさほどかかりませんし、妹背牛には素晴らしい指導者がたくさんいます。今年の予定はわかりませんが、たった2回の授業の為に用具やスキー場の利用料がかかると思うとうんざりします。

⇒この度は、本校の冬季スキー学習につきましてご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。お子さんがスキー学習で嫌な思いをしないよう、ご家庭で練習の機会を設けてくださっているとのこと。ご多忙の中お力添えをいただいておりますことに感謝申し上げます。

本校では、冬の体育学習として、これまで通りスキー学習を実施いたします。授業回数につきましては、天候や安全面、また、年間の教育課程全体との調整を踏まえ、今年度も2回の実施を予定しております。限られた回数ではありますが、事前指導や技能に応じたグループ編成を行い、子ども達が「できた」「楽しい」と感じられるように工夫してまいります。

スキー学習は、北海道の豊かな自然を生かした地域ならではの体験学習であり、子ども達に冬の運動の楽しさを味わわせることを目的としています。高等学校によってはスキー授業を取り入れているところもあり、小学校のスキー学習はそのきっかけ作りの場でもあります。学校での体験を通して興味を持った子ども達が、ご家庭でもスキー場などで体を動かす楽しさを感じてくれることを期待しています。

また、カーリング学習へのご提案につきましても、地域の特色を生かした貴重なご意見として受け止めています。妹背牛町には素晴らしい環境や指導者の方々がいらっしゃり、今後の体育学習を考える上で参考にさせていただきます。現時点ではスキー学習を中心に進めてまいりますが、子ども達が冬の運動を楽しめるよう、今後もより良い形を検討してみります。

今後とも安全で楽しい冬期学習となるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○日頃から子供の学校生活を見守り指導してくださり、ありがとうございます。お陰様で楽しく学校生活を送ることができることに日々感謝しています。

登下校時の安全・安心面について、1つだけ気になる出来事があったので、この機会に書かせていただきます。下校時にたまたま見かけた光景ですが、スクールバスが南玄関側の道路に駐車して待機している間、すぐ横の横断歩道を子供達が下校していく姿を見かけました。走行中の車からは死角になるため危険だなあと感じた出来事でした。登下校時の送り迎えなど路上駐車はスクールバスと同様に死角となってしまうため、保護者の私たちも職員室横の駐車場を使用するなど、子供達の安全を第一に考えた行動をしなければいけないと改めて感じました。また、冬になると雪山などでさらに死角が多くなるため、保護者からも子供に登下校時に潜む危険を伝えることが大事だと思いました。学校でも今一度、注意喚起して頂けると嬉しいです。今後ともよろしくお願ひ致します。

⇒この度は、本校の教育活動に温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。お子さんが学校生活を楽しんでいる様子は、職員にとって大きな励みとなっております。また、下校時の安全に関する大切なご指摘につきましても、心より感謝申し上げます。

スクールバス付近での横断は、車から死角になりやすく危険を伴う場面であり、改めて安全指導の重要性を実感いたしました。本校ではこれまで横断時の安全確認を指導してきましたが、日々の行動に徹底されていない面もあると感じています。今回のご意見を受け、「命を守る習慣づくり」として、学校前だけでなく町内外の道路全体を想定した指導を強めてまいります。

また、スクールバスや送迎車両との接触の危険についても課題があるため、バス運転手の方と連携を深め、安全確認を一層徹底していきます。保護者の皆さまには駐車場が手狭でご不便をおかけしますが、路上駐車を控えていただくよう改めてお願ひ申し上げます。

これから積雪期となり、死角が増えやすい季節を迎えます。学校・家庭・地域で協力し、子どもたちの安全を守る取り組みを進めていければと願っております。今後とも、安全で安心な学校生活のため、ご理解とご協力をお願ひ申し上げます。

○子どもたち一人一人をあたたかく見守りながら勉強や生活をさせてもらえる学校に感謝しています。いつもありがとうございます。国の方針でタブレットを使う授業が増えていますが、子どもたちの視力や体験の時間が少なくなっていくことが心配です。自分の目で見て触って体験すること、自分の手で文字を書くこと、本物と出逢うこと、今しかできない五感を通した学びや体験が更に増えています生き生きとした時間が増えていくような気がします。よろしくお願ひいたします。

⇒この度は、日頃の学校教育への温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。お子さんの成長を大切に見守ってくださっているお気持ちが伝わり、職員一同励みになっております。

また、タブレット学習に関する視力への影響や、体験的な学びの大切さについてのご意見も、ありがたく受け止めております。文部科学省の通知でも、ICT 機器の使用に際しては姿勢や画面距離、休息の確保など健康面への配慮が示されており、本校でもこれらを踏まえて授業を行っています。

タブレット活用は、子ども達にとって将来必要となる情報活用能力や技能を育むだけでなく、友達との情報共有や考えを視覚的に伝える手助けにもなるため、授業での活用に取り入れることにご理解をお願いいたします。

一方で、五感を使った体験活動は代えがたい学びであり、本校では地域の皆さまにご協力いただきながら、農業体験やカーリング体験、地域参観日における体験など様々な活動を取り入れてきました。人と関わりながら学ぶ経験は、子どもたちの力を大きく育てるものと考えています。

今後も、ICT を活用した学びと体験的な学びをバランスよく取り入れ、子どもたちが生き生きと成長できる教育活動に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願ひいたします。

○小学校のホームページに年間行事が掲載されていますが、防犯上の観点から公開しているのが心配です。

⇒この度は、学校の情報発信について貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。日頃より本校の教育活動に関心をお持ちいただいていることに感謝申し上げます。

また、ホームページに掲載している年間行事について、防犯面からご心配のお声をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。ご指摘の通り、児童の安全を守るうえで、情報の扱いには十分な配慮が必要であると認識しております。一方で、学校ホームページは保護者の皆さまだけでなく、地域の方々にも学校の取組を理解していただく大切な機会であり、学校と地域をつなぐ役割を担っていると考えています。そのため、年間行事の掲載自体は今後も継続してまいりたいと考えております。

しかしながら、防犯の観点は非常に重要であるため、ご指摘をふまえ、ホームページには行事の“概要のみ”を掲載し、時間や場所などの詳細は学級通信やラクメなどで限定的にお伝えするなど、情報の取り扱いにより一層の対策をとってまいります。

今後も、児童の安全を最優先にしながら、学校と家庭・地域がより良い形でつながる情報発信に努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願ひいたします。

○子供が学校の門を通ったら親に通知が行くような物がほしい。滝川市では行っているようです。

⇒この度は、お子さんの安全に関わる大切な情報を寄せいただき、ありがとうございます。日頃から学校の取組に関心を寄せていただいていることに感謝申し上げます。

ご紹介いただいた「登下校時の門通過を保護者へ通知する仕組み」について、本校から滝川市の小学校に確認したところ、市として希望者を対象に導入している通知システムであることがわかりました。

妹背牛町では、小中学生を対象としたメール配信システム「ラクメ」を整備し、緊急時の連絡や学校からのお知らせをスムーズに送信できる体制を確保しております。このことから、現時点では新たな通知システムの導入予定はありません。

ただし、今後、より安全で便利な仕組みが開発・運用されるような場合には、教育委員会とも連携し、導入に向けた検討を行うことも視野に入れてまいります。その際は、保護者の皆様にわかりやすくお知らせいたします。引き続き、お子さんの安心・安全を最優先に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

12月の行事予定

妹背牛小学校ホームページ随時更新中！
<https://www.town.moseushi.hokkaido.jp/mosesho/>
 妹背牛町のホームページからも閲覧できます



日	曜	スクールバス下校便		行 事 等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月		14:35	防災安全環境点検日 公設塾	5	5	5	5	5	5
2	火	14:05	14:50	短5 委員会⑧ 外国語6年③3年④5年⑤	5	5	5	5	5	5
3	水		14:40 15:40	6年保健指導④ 5年食育④	5	5	5	6	6	6
4	木	14:05		短5 アイヌ文化体験活動6年③④ 参観日(全学年)4学年Pレク⑤ 6年保護者打合せ(懇談終了後)	5	5	5	5	5	5
5	金		14:40 15:40	外国語4年③5年④6年⑥	5	5	5	6	6	6
6	土									
7	日									
8	月		14:35	スクールカウンセラー9:30～14:30 公設塾	5	5	5	5	5	5
9	火	14:05	14:50	短 外国語6年③2年④5年⑥ 5学年Pレク③④	5	6	6	6	6	6
10	水		14:40 15:40		5	5	5	6	6	6
11	木	14:05	14:50	短 6年食育③④	5	5	5	6	6	6
12	金		14:40 15:40	6年保健指導④ 定時退勤日	5	5	5	6	6	6
13	土									
14	日									
15	月		14:35	ていねい清掃1 公設塾	5	5	5	5	5	5
16	火	14:05	14:50	短 外国語6年③3年④5年⑥	5	6	6	6	6	6
17	水		14:40 15:40	ていねい清掃2	5	5	5	6	6	6
18	木	14:05	14:50	短	5	5	5	6	6	6
19	金		14:40 15:40	3学年Pレク④⑤	5	5	5	6	6	6
20	土									
21	日									
22	月	13:20		午 全校朝会(冬期休業前)	4	4	4	4	4	4
23	火			冬季休業(～1/15) 冬休み学習教室						
24	水			冬休み学習教室						
25	木			冬休み学習教室						
26	金									
27	土									
28	日									
29	月			年末休業 学校閉庁日						
30	火			年末休業 学校閉庁日						
31	水			年末休業 学校閉庁日						